

第4次昭和区地域福祉活動計画 こころん推進ニュース② R1.10月

発行：社会福祉法人昭和区社会福祉協議会
〒466-0051
昭和区御器所 3-18-1
電話 884-5511
FAX883-2231



各プロジェクトチームを中心に計画のとりくみが動き出しました。7月～8月には、つながりづくりや交流を目的としたとりくみが多く始まりましたので、その様子をご紹介します！

7月1日（月）

ご近所ボランティアコーディネーター連絡会

区内7学区で実施している地域支えあい事業の相談窓口で相談の受付やボランティアの調整を行っているご近所ボランティアコーディネーターが集まる連絡会が開かれました。

昭和区地域包括ケア推進会議の生活支援ワーキングとしての位置づけにより、いきいき支援センターなど相談支援の専門職も参加し、学区を超えた情報共有や相談が多いケースなどについて話し合いました。

地域支えあい事業や
相談窓口のことをも
っと知ってほしい。



共通した看板やのぼり旗
があればわかりやすいの
ではないか？

事業の周知はささえあい
プロジェクトチームで検
討していきたい！

8月30日（金）

知的障害の疑似体験

まなびあいプロジェクトチームが中心となって名古屋手をつなぐ育成会による知的障害の疑似体験会を開催しました。活動計画のほかのプロジェクトチームのメンバーや区社協の職員も含め、20名の参加がありました。

- ①言葉で伝えて絵を描くワーク
「ちょっと」「ちゃんと」などの抽象的な言葉は伝わりにくい（伝えにくい）し相手が同じようにイメージするとは限りません。



- ②シングルフォーカス
（見え方の違い）

ペットボトルを使って一部分を集中して見る体験。見ている場所のすぐ隣で人が動いていても気が付きませんでした。

このほかにレストランやバス停で起こったことを想定した寸劇を見て、どうしたらよかったかを考えるワークなどを行いました。参加者からは、実際に体験することで話を聞くだけよりも理解が深まったなどの感想があがりました。

今回のメンバーは普段福祉について関心のある方が多かったため共感できる部分もありましたが、今後は一般の人へどのように伝えていくかが大きな課題だという声もありました。

9月4日（水）

学齢期の子どもに関わる団体・機関の交流会

子ども食堂や子どもの居場所づくりに取り組んでいる方々、子どもの支援に関わる機関が集まる交流会も開催しました。

この場での出会いがきっかけでスクールソーシャルワーカーとつながって相談ができるようになりました。



夏休み期間中の子どもの居場所をつくろうと学区でコミセンを使って「子ども広場」を開きました。

学齢期の子どもに関わる団体・機関の交流会（以下交流会）では、子どもが安心して健やかに暮らせる地域をめざし、関係団体・機関のゆるやかな関係づくりや子どもの様子や困った時の対応などの情報交換を行っています。第3回目となった交流会では、子どもたちの様子をうかがいながら、現状から見えてくる課題などを検討しました。次回以降も、第4次昭和区地域福祉活動計画のつながりプロジェクトチームとともに学齢期の子どもに関わる現状や課題を発見し、地域へどのように発信していくか等検証していきます。

みんなおいでよ！

◆学区社会福祉協議会研修会・昭和区地域連絡会議

とりくみ⑩に関連して、地域住民と福祉施設・事業者との関係づくりを進め、連携した事業や活動の展開に向けて、お互いの事業や活動を知る機会として開催します。

日時 令和元年11月1日（金）10:00～12:00

会場 昭和区社会福祉協議会 2階研修室

◆つながりづくり交流会

とりくみ①「サロンに関わる人たちの資質の向上を図る」において、居場所・サロン運営者向けの交流会を開催します。

日時 令和元年11月28日（木）10:00～12:00

会場 昭和区社会福祉協議会 研修室

申込み・お問合せ先 昭和区社会福祉協議会（電話 884-5511 FAX 883-2231）